

2017年度 第2四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2016年度	2017年度	前年同期比
売 上 高	15,675	18,938	+ 3,263
営 業 利 益	526	2,047	+ 1,521
経 常 利 益	276	2,499	+ 2,222
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	1,637	+ 1,255

為替レート

\$=105.74円
W=0.0928円

\$=111.30円
W=0.0984円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、有機EL材料や、色素材料の需要増加を主因とした機能性色素セグメントの伸長等により、**3,263百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、売上高の増加等により、**1,521百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益が増加したほか、為替差損が差益に転じたこと等により、**2,222百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、非支配株主に帰属する四半期純利益の増加(減益要因)等があったものの、経常利益の増加により、**1,255百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2017年 3月末	2017年 9月末	増減
(流動資産)	249	263	+14
現預金・有価証券	71	101	+29
売上債権	122	101	▲20
棚卸資産	46	51	+4
その他	9	9	+0
(固定資産)	284	294	+9
有形・無形 固定資産	203	199	▲4
投資有価証券	74	87	+13
その他	6	7	+0
合計	534	558	+23

科目	2017年 3月末	2017年 9月末	増減
(負債)	195	196	+0
仕入債務	46	50	+4
有利子負債	91	82	▲9
その他	58	64	+5
(純資産)	338	361	+23
資本金	111	111	-
資本剰余金	95	95	+0
利益剰余金	60	74	+13
その他	70	79	+9
合計	534	558	+23

財務指標

- ・自己資本比率 59.5% ⇒ 60.2%
- ・D/Eレシオ 0.29倍 ⇒ 0.24倍

有利子負債 91億円 ⇒ 82億円

現預金 71億円 ⇒ 101億円

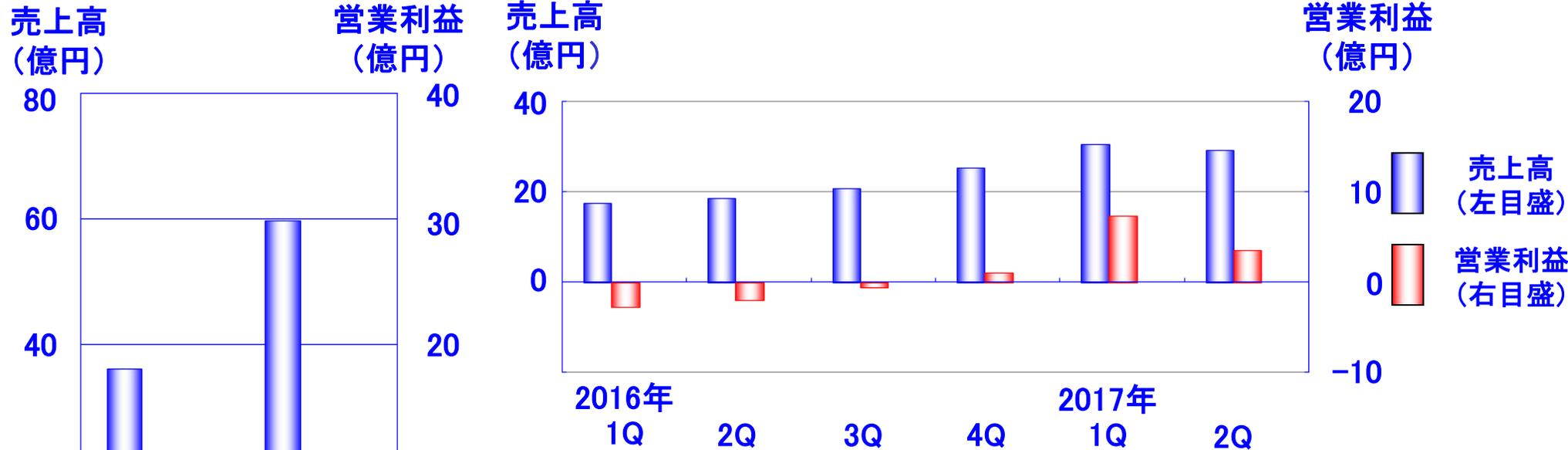
(実質無借金状態)

単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機 能 性 色 素	3,620	5,978	+ 2,357
機 能 性 樹 脂	5,746	5,910	+ 164
基 礎 化 学 品	3,399	3,572	+ 172
アグロサイエンス	1,589	1,790	+ 200
物 流 関 連	1,199	1,591	+ 391
そ の 他	118	95	▲ 23
合 計	15,675	18,938	+ 3,263

単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

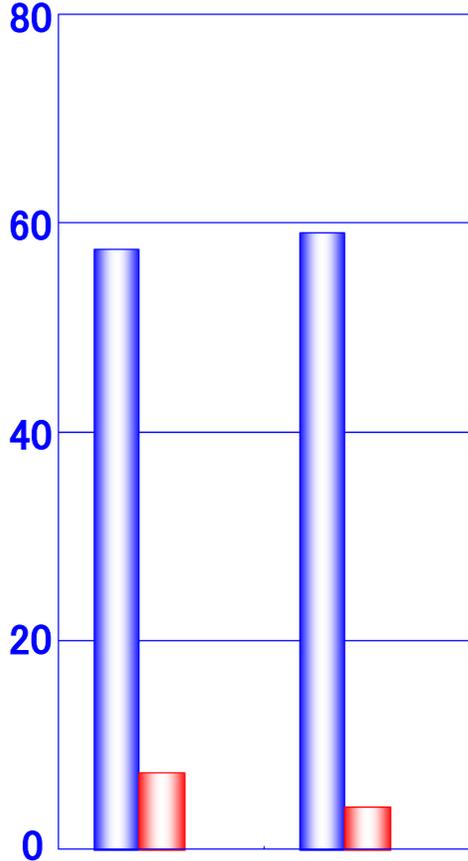
セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機能性色素	▲ 472	1,090	+ 1,562
機能性樹脂	369	204	▲ 165
基礎化学品	402	372	▲ 29
アグロサイエンス	▲ 96	42	+ 138
物流関連	344	342	▲ 2
その他	▲ 20	▲ 5	+ 14
合計	526	2,047	+ 1,521



2016年度 2017年度

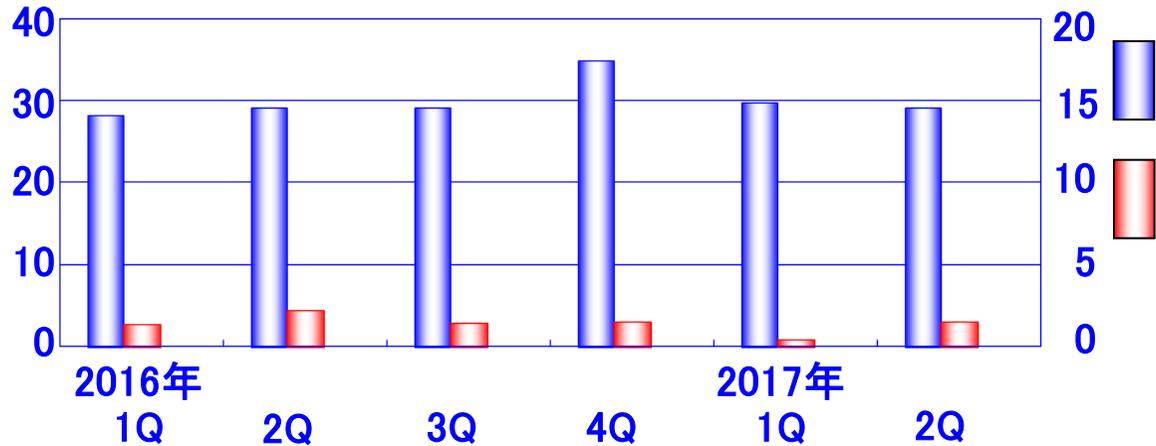
イメージング材料	・プリンター向けで厳しい状況が継続しており、前年同期並み	➡
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要の拡大により、増収	➡
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色用染料が、引き続き好調に推移し、増収	➡

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



2016年度 2017年度

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

樹脂材料

・ウレタン原料での需要が国内外で堅調に推移したことや、タイヤ用途向けで前年同期並みに推移したことにより、増収



建築材料

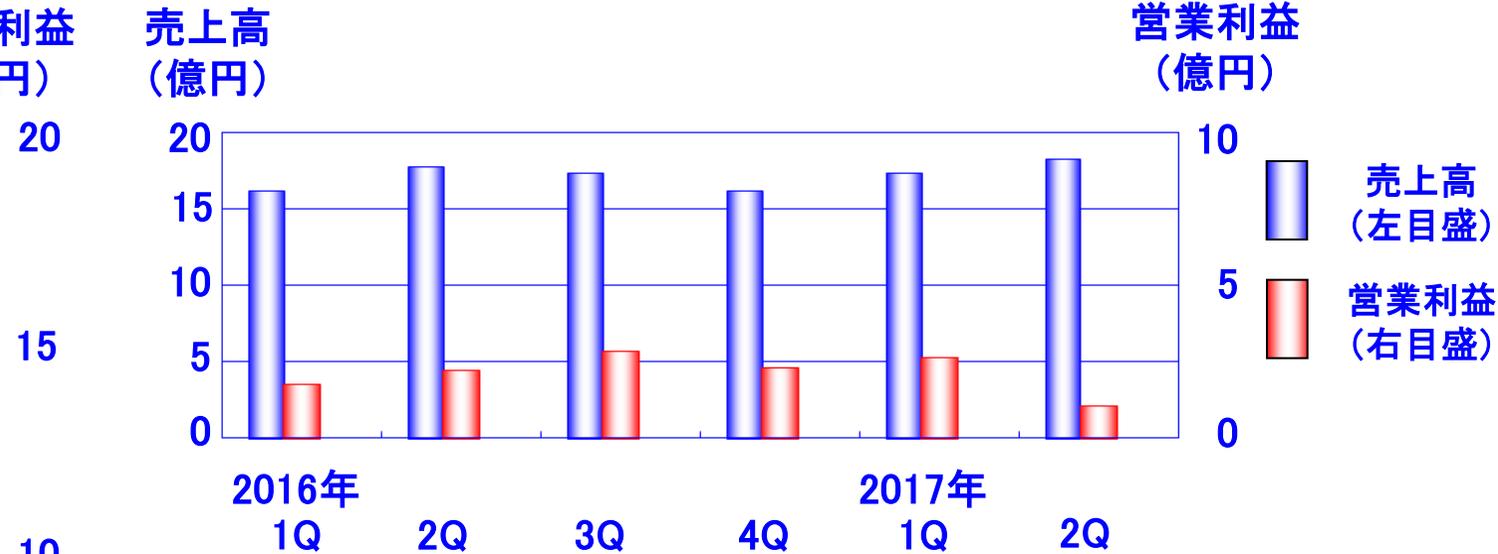
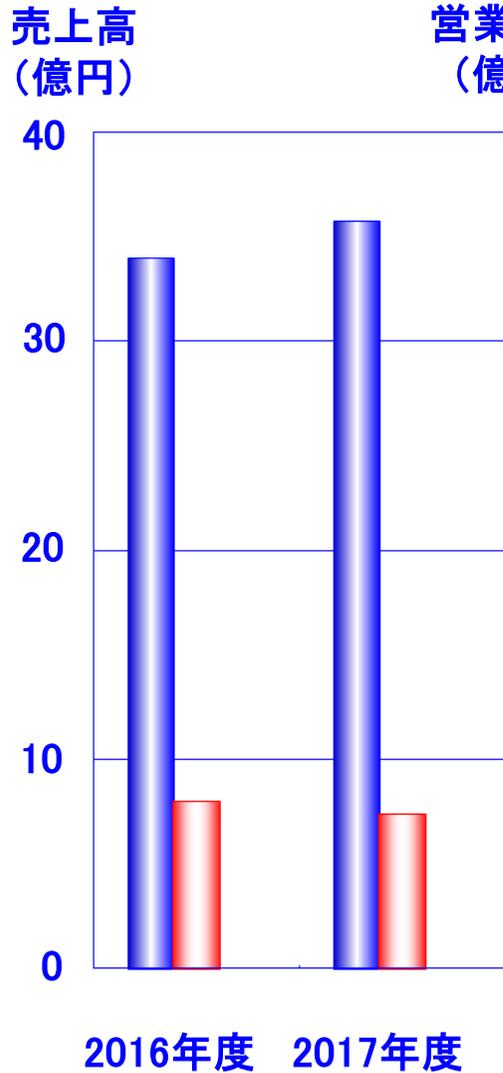
・ウレタン防水材料での競争激化により、減収



特殊化学品

・医薬品向けが減少したものの、樹脂関連向け等で需要が増加し、前年同期並み





過酸化水素

・紙パルプ向けに加え、
工業薬品向け等での需要が増加し、増収



誘導品(※)

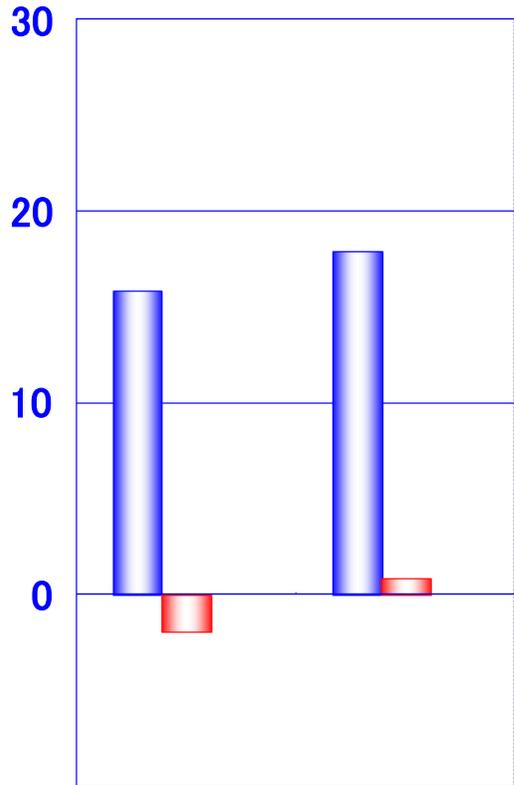
・家庭用洗剤向けが減少し、減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸

売上高
(億円)

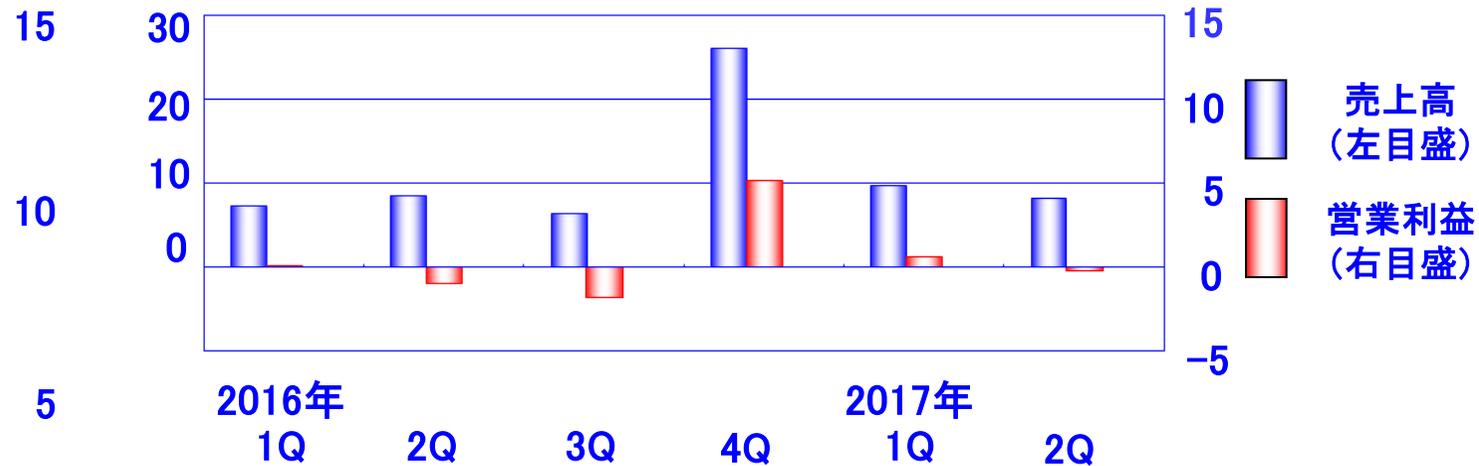
営業利益
(億円)



2016年度 2017年度

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



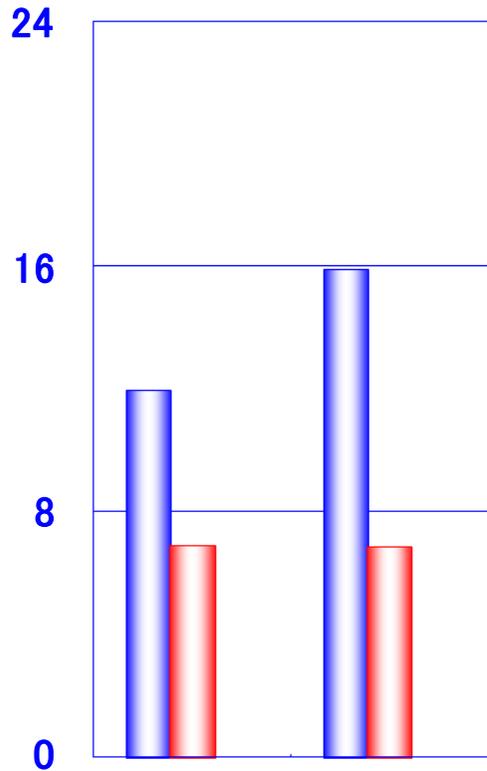
アグロサイエンス

・除草剤は、家庭園芸および鉄道向けで
需要が増加したことに加え、
農耕地向けも需要が増加し、増収



売上高
(億円)

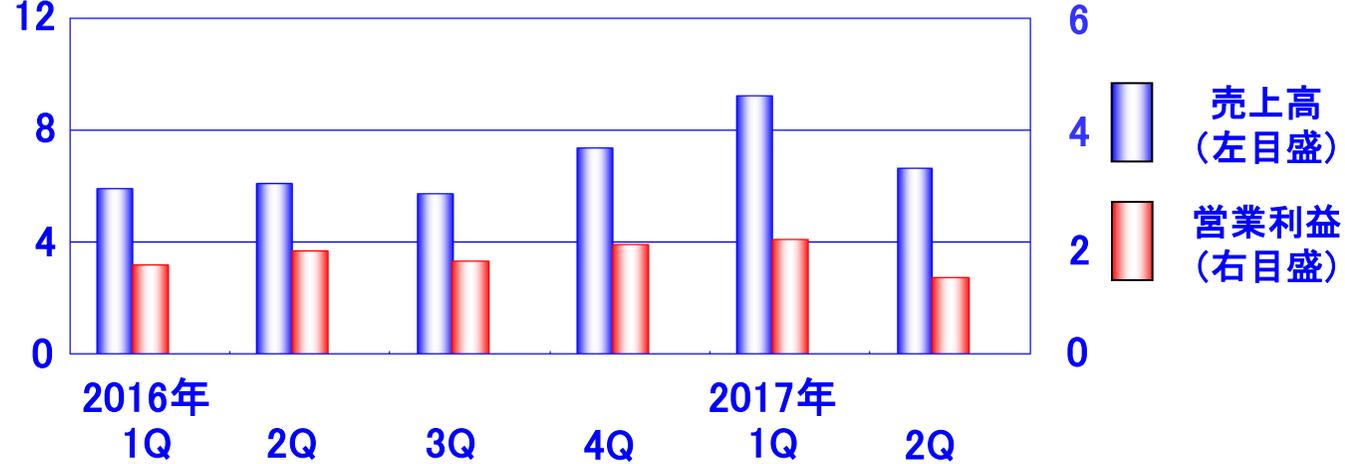
営業利益
(億円)



2016年度 2017年度

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



物流関連

- ・倉庫業が堅調に推移したことに加え、輸出の取り扱いが好調に推移したことなどにより、増収

平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成29年5月15日発表)	35,500	1,300	1,100	600	75 91
今回修正予想(B)	38,200	3,700	3,700	2,000	253 10
増減額(B-A)	2,700	2,400	2,600	1,400	—
増減率(%)	7.6	184.6	236.4	233.3	—
(参考)前期実績 (平成29年3月期)	34,739	2,129	2,094	1,951	246 86